

投稿論文チェックリスト

- 1. 投稿者は、共著者もすべて本学会の正会員である。
- 2. 希望する原稿の種類を記載している。
- 3. 投稿論文の内容は、他の出版物にすでに発表あるいは投稿していない。
- 4. 原稿枚数は、図表を含めて、投稿規程の制限範囲内である。
- 5. 原稿は、A4版横書きで、1頁横40字、縦40行になっているか紙面上で数えて確認し、片面印刷で印刷している。
- 6. 本文に頁番号を入れている。
- 7. 図、表および写真は、それぞれ通し番号をつけている。
- 8. 図、表および写真は、本文とは別に1枚に1点とし、本文原稿右欄外に挿入希望位置を指定している。
- 9. 引用文献は、本文の引用箇所の肩に投稿規程の例示通り番号で示している。
- 10. 引用文献は、本文の最後に引用番号順に記載し、本文中の番号と一致している。
- 11. 引用文献記載方法はカンマ「,」、ピリオド「.」等も例示通りにし、英文名も例示通りに略して表記している。
- 12. 参考文献を掲載する場合は、著者名をアルファベット順に列記している。
- 13. 文献著者名が4名以上の場合は、筆頭著者から順に計3名をあげ、「〇, 〇, 〇, 他」と表記している。
- 14. 倫理的配慮については、本文中に具体的内容を記載している。また、倫理審査を受けた機関については、伏せ字にせず、正本において正式名称および承認番号(記番号・整理番号など)を記述している。
- 15. 文献の情報は、原典と相違ない。
- 16. 原稿の表紙は、正本および副本ともに所定の用紙を用いて必要事項を記入し、投稿しようとしている原稿の表紙としている。
- 17. 原著・研究報告希望の場合は、400字程度の和文要旨をつけている。
- 18. 原著・研究報告希望の場合は、300語前後の英文要旨をつけている。
- 19. 英文要旨は、表題、著者名、所属、本文の順に記載し、英文要旨本文はネイティブ・チェックを受け、ダブルスペースで記載(一行あいだを開けて記述)している。
- 20. 3~5語の日本語および英語のキーワードを和文要旨および英文要旨につけている。
- 21. 要旨は、〔目的〕、〔方法〕、〔結果〕、〔考察〕の見出しをつけて記載している。
- 22. 原稿は正本3部、副本3部を準備している。
- 23-1. 副本3部は、著者名、所属、謝辞、承認を受けた倫理審査委員会の名称をマスキングしている。
- 23-2. 副本3部は、引用文献において投稿者らが自身の論文を引用する場合、投稿者らを特定できる事項を全てマスキングしている。
- 24. 本文の誤字脱字の確認、記載内容などに欠落がないか確認をしている。
- 25. 投稿論文チェックリストにチェックを入れ添付している。

筆頭著者名 (自署)
